

PACS システムの Nazca を導入して院内のフィルムレス化を図り
医療法人三仁会グループ連携までを構築



医療法人三仁会 あさひ病院 院長 花村浩克氏

導入経緯

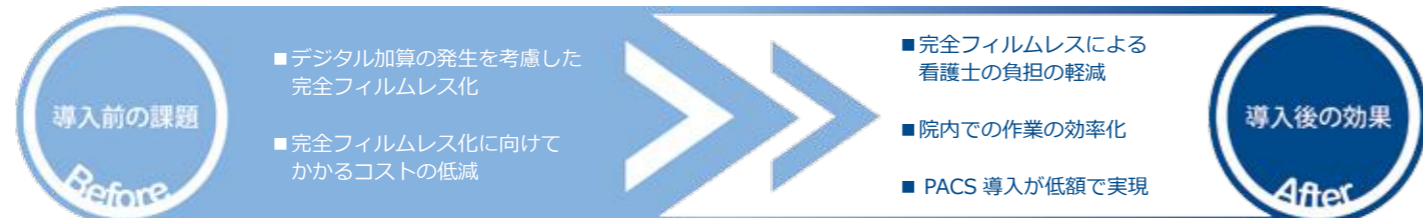
医療法人三仁会グループでの連携実現のため、
完全フィルムレス化を念頭に PACS 導入を検討

平成 10 年 3 月に現春日井整形外科より所在地へ新築移転をし、春日井整形外科病院をあさひ病院と名を改めて診療開始を行うにあたり、今後の診療形態、またデジタル加算が発生することも考慮して、完全フィルムレス化を念頭に置きフィルム保管スペースなどを設けないなどの病院設計を行っていました。多数有る PACS メーカーの中からの選定となるわけですが、グループ内の各施設で診察を受けられる患者様も多いことから医療法人三仁会グループの構想として、医療法人三仁会グループ全体（あさひ病院、春日井整形、師勝整形）でフィルムレス化を行い、どの施設からも同じ画像がリアルタイムで参照できるシステムの構築実現に向けて、選定を行っていました。

各メーカーのデモや提案の中で、拠点間での画像連携を提案していたメーカーもありましたが、導入に踏み切るにはあまりにもコストが高かったことがわかりました。その中でアストロステージはフィルムレス化と拠点間接続に向けて、他メーカーに勝る提案を行い、またコスト面でも大変な努力をしていただきました。また、大手メーカーにはない、柔軟性や対応力、フットワークのよさも PACS 導入に向けての大きな決め手となりました。

導入システム

- DICOM 画像管理システム Nazca
- 会議室・手術室への大型モニターへの導入



あさひ病院：システム導入時期 / Apr 2007



医療法人三仁会は昭和 50 年 7 月「患者様本位の高度医療を地域住民に」をモットーに春日井整形外科病院を 3 人（前田博司氏現あさひ病院名誉院長、安原徳政 現師勝整形外科院長、花村浩克 現あさひ病院院長）の共同により、40 床の整形外科専門病院として春日井市東野町に開業いたしました。その後、昭和 59 年 8 月に医療法人化し、現在の医療法人三仁会となりました。あさひ病院は医療法人三仁会グループ（あさひ病院、春日井整形、師勝整形）の中核病院で、日本都市公園 100 選にも選ばれている桜の名所落合公園の西隣に、平成 10 年 3 月に新築移転し、春日井整形外科病院改め、あさひ病院としました。主に整形外科疾患が対象の一般病床 37 床と、脳梗塞などの中枢系疾患のリハビリを目的とした回復期リハビリテーション病床 37 床を有し、入院治療、リハビリに専念いただけるようアメニティーを整備いたしました。また、名古屋大学及び愛知医大整形外科教室との連携により、一般整形外科のほかにも専門外来を設け、高度な専門的手術を含め、年間 800 例を超える手術を行っております。

所在地：愛知県春日井市下原町字村東 2090
病床数：74 床
診療科：整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・形成外科・麻酔科・神経内科
一般内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・手の外来・スポーツ外来
膝/股関節外来・膝/肩関節外来・脊椎外科・メタボリック外来

今後の方針

今後の方針としては、現在の PACS システムをより生かす形で、将来的に RIS システムの導入やレポートシステムの導入も検討しています。また、検査画像だけではなく、他の診療データの一括管理も行っていきたいと考えています。

また、平成 20 年 11 月にはあさひ病院に新たに MRI 診断装置の導入、手術室の増設を行っており、今後も医療法人三仁会グループとしての基本理念である「患者様本位の心のもった医療」「信頼と安心の医療」「高度先端医療の提供」を行ってまいりたいと考えています。

今後の期待・要望

導入経緯でも触れさせていただいておりますが、決め手となった「他社には真似のできない提案力」や「フットワークの良さ」を今後も御社のさらなる強みとしていただければと思います。

システム構成図

